

# 「法務局電子データの多面的活用による固定資産税事務等の省力化と住民サービス向上の取組について ～費用対効果を念頭に置いた試行のあらまし～」

長崎県松浦市税務課  
課長補佐 宮崎 直人  
参事兼固定資産税係長 反田 隆二

## 1 事業の発端と経緯

土地台帳・家屋台帳の閲覧という行政サービスを存続し、業務の軽減を図るため、平成25年度から法務局との電子データ交換について協議した。

平成27年12月からの登記済通知データを受けるとなり、地理情報システムの受託業者（国際航業株式会社）と共同で、システムの改修を行うこととなった。

## 2 法務局データ利用開始まで

- (1) システム導入に当たっては、コスト削減が見込まれる部分から維持費増加を抑えながら徐々に導入する方針のもと、既存の委託契約に追加する形で着手した。
- (2) バッチ処理作成した価格通知データを法務局に送ったが、範囲外文字による大量エラーが発生し、手処理再作成で解決した。
- (3) 価格通知の要件をクリアして平成27年12月に要約書データ、平成28年2月に登記済通知書データの提供を受けた。

## 3 台帳システムの構築

### (1) 台帳閲覧の現状

土地・家屋台帳の利用の現状は、窓口での利用は少ないが、内部公用閲覧が約500件と多くシステム導入による業務合理化の効果は高いと判断した。

### (2) 台帳システムの仕様

法務局仕様のデータ（CSV）を物件毎にDB管理し、各業務端末から物件毎に検索閲覧することを基本機能とした。

### (3) 初期構築のながれ

全土地・家屋の登記事項要約書CSVのデータ取得に際しては、分割作成されたファイル毎に異なる要約書現在内容と登記済通知書内容の重複に注意した。

また、直接出力されない法務局登録外字が約200文字種あり、外字コードを類似文字に置き換える外字クリーニング（Excelファイルで手処理）作業を行い、並行してベンダーとシステム改修仕様を協議した。

### (4) 異動処理のあらまし

登記済通知書CSVを受領後職員端末で台帳更新ツールを使い読み込み、その後、外字クリーニング（台帳更新ツールで半自動処理）で外字処理を行い、外字処理後に台帳の一括更新を行う。

## 4 システム導入効果

### (1) 窓口での反応

平成28年7月から事前広報は行わずサービスを開始したが、操作がシンプルで旧簿冊より見やすくなったと利用者には好評。

### (2) 庁内利用の様子

台帳確認作業の時間短縮、法務局確認の減少、台帳更新作業の省力化、合併旧市町間の台帳統合による省力化と全市閲覧化、各部署での登記調査事項の簡便化が図られた。

## 5 法務局データを扱うポイント

法務局データを扱うには、件数確認や内容確認用インデックスリストの作成等によるデータの作成時点・構成・欠落の把握、単件毎のデータ構造・レイアウトの理解、外字処理の計画的手順による管理が必要である。

## 6 データ利活用の展望

今後は、紙媒体を使わずに登記済通知データを直接入力することにより異動入力の省力化・制度向上を図り、また、不動産取得税との連携等、登記情報データベースとしての多目的利用を推進していきたい。